

検証 検証2005年の自然災害

Assessment of Disaster Damage in 2005

台風災害

全国で日雨量の記録更新ラッシュ
街は水に浸かり土砂に呑み込まれた



土石流に破壊された集落（鹿児島県垂水市新城小谷地区）〔写真提供 / 読売新聞社〕

日本列島には毎年多くの台風が接近または上陸するが、2005年も23個の台風が発生、暴風と大雨が各地に甚大な被害をもたらした。

発生した台風のうち、12個が日本に接近、3個が日本に上陸した。

8月26日には台風11号が首都圏を通過し、JR東海道新幹線をはじめ鉄道が軒並み運休。交通機関が大混乱に陥った。その直後には、台風14号が九州に上陸。九州東部は記録的な豪雨に見舞われ、浸水被害が相次いだ。

また集中豪雨により各地で土砂災害が多発し、27人の尊い命が犠牲になり、最終的には、九州を中心に39都道府県が何らかの被害を受けている。

「台風列島」とも評されるように、日本列島は地理的に台風災害から逃れることはできない。風水害は確実に起こり得るものとして、日頃からの防災対策の重要性があらためて浮き彫りとなった1年だった。



宮崎市内の浸水状況（宮崎市中村地区）
〔写真提供 / 宮崎河川国道事務所〕